潮来高で薬物の危険性について講
演する秋葉敏幸氏＝潮来市須賀

潮来高で乱用防止教室

薬物の危険性学ぶ

潮来市須賀の県立潮来高（高野光章校長）で5日、薬物乱用防止教室が開かれ、1年生133人が、薬物の危険性を学んだ。教室は潮来ライオンズクラブ（小林俊夫会長）による恒例行事。薬物乱用防止指導員の秋葉敏幸さんが講師を務めた。

秋葉さんは、覚醒剤や大麻の標本を示しながら、薬物の種類や依存の恐ろしさを説明。薬物の売買は繁華街だけでなく身近な住宅街でも行われている映像を示し、警鐘を鳴らした。違法薬物から身を守るには「間違った情報で悪い人たちのわなにはまらず、正しい情報を判断できる人間になること」と述べた。

また、医師から処方される薬や市販薬の乱用にも言及。「薬には必ず副作用があり、飲み過ぎると体に悪い症状が出る」と強調した。会場にはさまざまな違法薬物の標本なども展示され、生徒らは真剣な表情で見入っていた。

講演を聴いた芒崎豪瑠さん（1年）は「違法薬物が身近に潜み、市販薬の危険性も知ることができた。怪しい誘いがあったらきっぱり断る勇気を持ちたい」と感想を述べた。

令和8年6月11日（木）茨城新聞　17面